



おぐに議会だより



第55号

令和6年11月8日

表紙写真の説明

新千円札記念地上絵
(10月13日
木魂館グラウンドにて)

◎ 令和6年第3回臨時会(8月議会)
○ 令和6年第3回定例会(9月議会)

令和6年 第3回臨時会

第3回臨時会が8月2日(金)、開かれました。審議された議題は下記の2つです。

○議案第28号 損害賠償の額を定める件

全員賛成
可決

…5月6日、下城の大イチョウの枝が折れて落下し、隣接地の納屋を破壊したため所有者に損害を賠償するもの。

損害賠償金額 877万128円 内損害保険支払 515万1253円
町支払分 361万8875円

○議案第29号 一般会計補正予算(第3号)

全員賛成
可決

…758万5千円追加し、総額59億6974万3千円とするもの。

主な内容 全日本中学生ホッケー大会出場費補助金380万円、賠償金(下城大イチョウ)362万円など。

令和6年 第3回定例会(9月議会)

第3回定例会が9月9日(月)から18日(水)に開かれ、令和5年度の決算などが審議されました。

○議案第30号 国民健康保険条例の一部改正

全員賛成
可決

…マイナ保険証導入に伴う改正。

○議案第31号 文化財保護条例の一部改正

全員賛成
可決

…これまで文化財指定を有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物としていたが、文化的景観と伝統的建造物群も対象に加えるもの。

○議案第32号 後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

全員賛成
可決

…マイナ保険証導入に伴う変更。

○議案第33号 一般会計補正予算(第4号)

全員賛成
可決

…1億5857万9千円追加し、総額61億2832万2千円とするもの。

主な内容 土木施設災害復旧費9265万円、新型コロナワクチン接種委託料2430万円、関田住宅修繕費1100万円、ゆうステーション修繕費860万円など。

○議案第34号 簡易水道事業会計補正予算(第1号)

全員賛成
可決

…特別会計から事業会計に移行したために必要な手続き。

○議案第35号 下水道事業会計補正予算(第1号)

特別会計から事業会計に移行したため必要な手続き。

全員賛成
可決

○議案第36号 工事請負契約(中学校寄宿舎電気設備工事)

5千万円以上の請負契約のため、議会で議決するもの。

請負代金 6036万8千円

受注者 (有)宇野電器 代表取締役 宇野英典

工事概要 受変電設備(キュービクル)設置、

照明のLED化など



一般的なキュービクル

全員賛成
可決

○同意第2号 教育委員の任命

任期満了による再任。

氏 名 時松 比佐代

住 所 上田

生年月日 昭和35年12月18日



全員賛成
同意

○認定第1号 令和5年度一般会計歳入歳出決算

歳入総額86億4855万8685円 歳出総額76億4200万7283円

賛成多数
承認

○認定第2号 令和5年度国民健康保険特別会計決算

歳入総額10億8613万2283円 歳出総額10億7975万3751円

賛成多数
承認

○認定第3号 令和5年度介護保険特別会計決算

歳入総額11億9174万7750円 歳出総額10億1984万8675円

賛成多数
承認

○認定第4号 令和5年度後期高齢者医療特別会計決算

歳入総額1億3431万4283円 歳出総額1億3381万9569円

賛成多数
承認

○認定第5号 令和5年度簡易水道特別会計決算

歳入総額2061万7720円 歳出総額1175万5626円

全員賛成
承認

○認定第6号 令和5年度農業集落排水事業特別会計決算

歳入総額2億4048万6184円 歳出総額2億661万4143円

全員賛成
承認

○認定第7号 令和5年度水道事業会計決算

収益的收入1億3845万3297円 収益的支出1億2931万8186円

資本的收入 3162万8千円 資本的支出 3179万9270円

全員賛成
承認

討 論

承認第1号 令和5年度一般会計決算

反対討論

【児玉】実質収支は2億2,134万7,456円の黒字だが、町債残高は61億8,199万4,008円と前年度末を上回っている。一見財政がよくなったように見せかけても不要不急の事業のために将来への負担も積み上がっているというのが実態ではないか。

承認第2～4号 令和5年度国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療特別会計決算

反対討論

【児玉】令和5年は国保税増税で子供に係る均等割が6千円引上げられた。未就学児は1人増える毎に年間1万6千円、小学生以上だと3万2千円の負担だ。児童手当が月1万円あるとしても4分の1近くが均等割で消えてしまう事になっている。

採決結果一覧表

賛否が分かれた採決の結果は次の通りです。

(○は賛成 ×は反対)

議案番号	事件名	採決結果	江藤理一郎	杉本いよ	高村祝次	児玉智博	穴見まち子	松崎俊一	松本明雄	熊谷和昭	久野達也
認定第1号	令和5年度小国町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○
認定第2号	令和5年度小国町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	×	○	×	○	○	○	○	○
認定第3号	令和5年度小国町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○
認定第4号	令和5年度小国町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○

令和6年 第2回総務常任委員会

9月10日、総務常任委員会で令和5年度の決算が審議されました。委員会での質疑を抜粋してご紹介します。

総務課

問【江藤】コンビニ交付サービスにかかる経費は。

【総務審議員】システム使用料が79万2千円でデータを保存し証明書を作成するもの。また証明書交付センター負担金が69万963円で各コンビニと接続して証明書を発行するための負担金。

問【穴見】LPガス使用世帯支援事業補助金について、件数などの実績は。

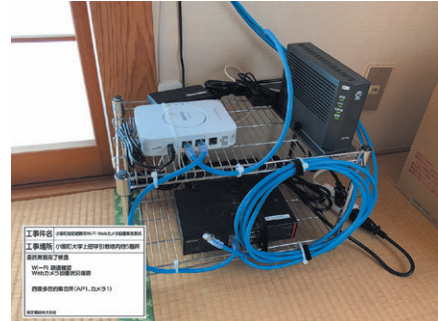
【財政係長】町内の対象2238世帯のうち1599件の申請があり、実際交付した件数は1485世帯の支給だった。

問【松本】隣地安全対策立木等撤去事業補助金だが、大きい木は撤去費用がかかるので、小さい木は自分で伐採する事や、住家の側に木を植えない事などを周知するといいいのではないか。

【総務課長】個人の敷地内に木を植えないなどの周知はなかなか難しいので、倒木しやすい杉などは管理するように周知を行うことを検討したい。

問【熊谷和】西里多目的集会所のWi-Fiが繋がらないことがあるので、避難所のWi-Fiについては、定期的に確認してほしい。

【総務係長】町の指定避難所となっているので、避難の様子を確認するためのカメラを設置して避難所を開設する際には接続の確認をしている。今後も引続き各避難所のWi-Fi環境を確認する。



西里多目的集会所のWi-Fi機器

問【松崎】熊本地震復興地震交付金について説明を求める。

【財政係長】熊本地震に係る県の基金を令和5年度に残額を一括して被災自治体に対して交付されたもの。つながる未来基金に積み立て防災対策へ充てる予定。

情報政策課

問【熊谷博】乗合タクシー運行委託料の推移はどうなっているか。

【まちづくり係長】令和3年度 2419万8360円、4年度 2291万1730円、5年度2155万4760円。

問【松本】旧西里小学校活用プロジェクト運営業務委託の詳細を教えてください。また昨年度開催したイベントの詳細も。

【SDGs推進係長】ESD/SDGsプログラムの作成と実施、シェアキッチンの運営体制の構築イベント、事業の収益化を目指すプログラム企画、ホームページやSNSでの情報発信などを委託している。昨年度は地域型体験ツアーに2名、熊本市内でのトークセッションに10名、ジビエに関するイベント20名、西里蚕の市イベントに約200名参加した。

問【江藤】旧西里小学校の施設運営に係る、収入と支出はどうなっているか。

【SDGs推進係長】収入はサテライトオフィスが3部屋あり、使用料は1部屋5万円。現在1社入居中で1社調整中。他にシェアキッチンの貸出収入とコワーキングスペースの使用料だが、稼働前のため把握出来ない。支出は経常的にかかる施設の維持経費がおおよそ月9万円程度見込まれる。



シェアキッチン TOMOS (トモス)



コワーキングスペース

税務住民課

問【江藤】セルフレジの利用状況は。

【会計管理室長】今年2月から稼働し、当初の利用率は窓口で支払いをする納付書の枚数の約20%だったが、現在30%近い。様式によりセルフレジで支払えないものもあるが、新たに町県民税の特別徴収の納付書の読み込みも出来るよう調整中で、利用率が上がってくるものと考ええる。

問【松本】セルフレジの設置場所の周知徹底を。また納付書が受け付けられないケースが見られるため使い勝手を考えて欲しい。

【会計管理室長】セルフレジの設置場所について、今後見直しを行っていきたい。納付書が受け付けられないケースとして、期限切れ、印刷のズレなどがあった場合などに発生している。印刷する各担当とも調整し、ご迷惑をおかけしないようにしたい。

令和6年 第2回文教厚生常任委員会

9月11日、文教厚生常任委員会で令和5年度の決算が審議されました。委員会での質疑を抜粋してご紹介します。

福祉課

問【熊谷博】地域福祉推進員の役割と活動内容は。また、地域福祉推進員が受けた相談を町が直接対応することがあるか。

【福祉係長】社会福祉協議会が47名に委嘱し、日常生活の困り事の解決や相談対応を行っている。推進員が解決出来ない相談は、社会福祉協議会、民生委員、町の順で対応にあたる。

問【高村】社会福祉協議会補助金の対象事業はどのようなものか。また事業ごとの費用の内訳は。

【福祉係長】社会福祉協議会が行う地域福祉活動で、事業内容は心配事相談や生活困窮者の相談事業、高齢者のサロン活動や、民生委員協議会の事務局など。

【福祉課長】事業ごとの費用計上については、

社会福祉協議会と協議していて、令和5年度の事業実績は事業ごとに計上して提出されているが、さらに詳細に提出するよう引き続き協議する。

問【児玉】老人保護措置費の措置者数と町内施設、町外施設の内訳は。また、悠和の里の定員数と、現在の入所者数は何人か。

【福祉係長】措置者数は19人で、町内施設が12人、町外5施設に7人が入所している。悠和の里の定員は30人で、現在は29人が入所している。

問【高村】老人クラブ補助の交付状況は。また、老人クラブの新たな活動に対しての補助を検討してはどうか。

【福祉係長】24老人クラブに交付している。対象者は1290人。

問【江藤】一次預かり事業の対象年齢、利用人数、時間、財源は。

【子ども未来係長】小国幼稚園で行っており、対象年齢は3歳から5歳。利用は9人、実施時間は15時から18時。財源は国、県、町が3分の1ずつ。

問【児玉】以前、病児保育実施の話があったと思うが、現状はどうなっているか。

【福祉課長】小国公立病院を想定して実施する計画をしていたが、病院側の受入れ態勢が整わず断念しているところ。引き続き協議を重ねたいとは考えている。

問【熊谷博】熊本県就学前人権同和教育研究協議会とはどのような組織か。

【保育園長】県内の市町村が加入し、被差別状況にある全ての子どもや親のくらしに学びながら、その課題を多方面から検討し研究実践活動を行い、同和保育の推進発展に努める事

を目的とした組織。小国町でも幼児期に差別を許さない感性を身につけるために、人権保育に取り組んでいる。

問【熊谷博】小国町就学前人権教育研究協議会ではどのような活動をしているか。

【保育園長】保育園、幼稚園、福祉課、教育委員会、小学校、解放同盟支部の人達で構成されており、学習会や研修会を開催し、保育士や教職員自らが就学前教育の質の向上を図るための学習や活動を行っている。

問【児玉】就学前人権教育研究協議会への加入は個人か。また、研修会等がある場合、職員の参加についての意思確認は行っているか。職員の負担が大きいのでは。

【福祉課長】保育園として加入している。研修等があれば職務として参加させている。保育園業務として位置付けているので職員の負担が大きくなる事はない。

問【江藤】がん検診の受診率はどのように推移しているか。

【福祉課長補佐】令和5年度の受診率は、胃がん検診10.7%、肺がん検診21.1%、大腸がん検診17.8%、子宮頸がん検診18.9%、乳がん検診23.1%。受診率は徐々に低下している。要因としては、人口減少や対象者の高齢化、若い世代を取り込めていない事が考えられる。

国民健康保険特別会計

問【児玉】保険税の滞納者、滞納処分の件数、また短期証の発行件数は。

【福祉課長】収納率95.4%で収入未済は793万4392円。差し押さえ件数は28件、差し押さえ金額は63万1905円。短期証は1か月証19世帯27人、3か月証が18世帯35人、6か月証が3世帯4人。

介護保険特別会計

問【児玉】要介護認定者の人数の内訳は。また、年齢が若い要介護認定者は何人いるか。

【福祉課長補佐】要支援1は35名、要支援2は50名、要介護1は133名、要介護2は116名、要介護3は93名、要介護4は73名、要介護5が28名。第2号被保険者(40～64歳)の認定者が5名いる。

後期高齢者医療特別会計

問【児玉】所得段階別の被保険者数を把握しているか。

【福祉課長】所得段階別の資料はないが、医療費の負担割合については、1割負担が1395名、2割負担が154名、3割負担が71名。

教育委員会

問【江藤】学校教職員住宅使用料について、教職員住宅の戸数と、利用者数は。

【学校教育係長】8戸中、4戸入居している。

問【児玉】小中学校の教職員・講師その他の人数、また教員定数は。

【学校教育係長】令和5年度実数で小学校が37名、中学校が24名となっている。小学校が、講師2名、非常勤講師2名、町費非常勤職員6名、学校業務支援員1名、ALT1名。中学校が、講師1名、非常勤講師2名内ALT1名、教員業務支援員1名、町費非常勤職員は4名となっている。

問【熊谷博】スクールバス委託料、推移は。入札方法は、入札か随意か。

【事務局次長】29人乗り5台分では、令和4年度からは年2821万5千円、平成31年度からは年

2757万7千円、29年度からは年2737万8千円。

入札方法は、3者見積徴取による随意契約。

問【児玉】修学旅行先と自己負担額は。補助額1万6000円は上限か。町外への通学者にも出せるのか。要綱はあるか。

【学校教育係長】行き先は、沖縄県。補助を差し引いた自己負担額は6万1890円。町外者へは支給しない。補助額は小学生8000円、中学生1万6000円を上限に内規によって補助している。

問【江藤】子ども会は、今現在何団体で、いくら補助しているか。活動が難しくなっているが、近い将来全体的にまとめた活動や老人会との活動の予定はないか。子ども会の要望などはどこで検討するのか。また、宮原子ども会は何故無い理由は分かるか。

【事務局次長】宮原以外の大字4団体。令和5年度は黒淵と西北会が活動。1人当たり500円で支出している。要望があれば子ども会の育成連絡協議会の中で今後検討したい。宮原子ども会がない理由は把握していない。

問【江藤】中学校社会体育指導者謝礼で、指導者が足りていない種目は。小学校社会体育謝礼はどこで支払っているか。

【事務局次長】部活動の指導者は足りている。小学校社会体育は令和6年度バドミントンが足りていない。小学校社会体育の謝礼はゆうあい倶楽部から支払っている。

問【熊谷博】林間広場のナイターの残りの改修時期はいつぐらいを予定しているのか。

【事務局次長】スポーツ振興くじ助成金から1600万を受けたが、同じ事業で3年間はこの交付金の申請ができないため、令和9年度に計画したいと考えている。

令和6年 第2回産業常任委員会

9月12日、産業常任委員会で令和5年度の決算が審議されました。委員会での質疑を抜粋してご紹介します。

問【高村】小国町有害鳥獣防除柵設置事業補助金でワイヤーメッシュを設置する場合、対象農地を囲う必要があるのか。

【農政係長】必ず囲う必要はないが、十分な防除効果を得るためにも他の対策等も活用しながら可能な限り農地を囲うようお願いしている。



鹿ネット

問【松本】がまだす里モン支援事業補助金を小国菊芋倶楽部に交付しているが、現在町内の菊芋農家数は何件か。また、補助金はどのように活用されているのか。

【農政係長】現在菊芋倶楽部に登録されている農家数は約20件である。また、令和5年度の補助金は町内の幼稚園児及びその保護者を対象とした芋掘り体験会や菊芋レシピの試食会等の経費として活用されている。

問【杉本】手作りの館の設置目的は農産物等を活用した試作のはずだが、営利目的で同施設を使用し営業許可を取得してもよいのか。現在、営業許可取得団体以外にもみそ作り等を目的に利用している農家等がいるが問題ないのか。また年間何団体が何日程度利用しているのか。

【農政係長】現在1団体が営業許可を取得し活動しているが、手作りの館の設置目的は農産物加工品等の試作・研究開発であることや食品衛生管理等の基準の観点から、同団体の許可に関しては現許可期間満了後の更新は行わない。営利目的でなければ許可団体以外でも施設の利用は可能であり、令和5年度は9団体が計35日間利用している。

問【児玉】飼料・肥料高騰対策について、経費の高騰はどれだけで、どれほど費用の補填となっているか。

【農政係長】飼料については高騰前の約1.4倍、肥料は水稻だと約1.8倍となっている。飼料については高騰分に対して30%程度、肥料については70%程度の補助率となっている。

問【熊谷博】鳥獣の補助金について請求と支払いの方法はどのようになっているか。

【林政係長】猟期のものは捕獲者から町へ請求し、町から捕獲者へ直接支払いをしている。駆除のものは有害鳥獣駆除会が請求を行い、町から駆除会に支払ったのちに個人へ支払い、個別に領収書等で受領金額の確認をとっている。

問【児玉】令和5年度の鳥獣被害は農業と林業で幾らか。被害面積の中に畦畔の掘り起こし等が入っているのか。また、水稻以外の作物の被害等を把握する必要があるのではないか。

【林政係長】水稻被害186a、金額175万7千円となっている。被害面積に畦畔等の面積は算

入されていない。調査対象や方法等の課題が多く、現状把握出来ないと考える。林業についても把握していない。

問【児玉】間伐と皆伐はどちらの方が多いか。また、それぞれどれくらいの面積を実施しているか。皆伐後再造林されていない森林も見受けられるが、把握しているか。

【林政係長】間伐面積は62.7ha、主伐促進事業の実績から再造林実施面積として19.6haとなっている。基本的に再造林がされていると認識している。無届で伐採されている場合は把握できない。

問【高村】下刈り作業への賃金上昇への支援や鹿ネット等の防除対策について補助できないか。また、伐採作業を行う場合は、ある程度の面積をまとめて行うなどの取組を進めているか。

【産業課長】事業は毎年見直しを行っており、森林組合等との予算協議の段階で検討を行っている。伐採作業は集約化することで経費削減につながるため勧めている。

問【児玉】種駒の購入経費を補助しているが、どれくらい値上がりをしていて、高騰分の何%が補填されたか。またシイタケの市場価格はどうだったか。

【林政係長】1駒当たり5円程の値上がりとなっており、その10%として0.5円を補助。シイタケの価格は令和4年度と5年度の比較ではほぼ横ばい。

問【高村】自然環境を保全する役割も担っていることから、種駒代補助の増額などを検討出来ないか。

【町長】需要と供給のバランスを考え、売値が上がれば事業そのものが不要となるかもしれない。農家、町、国など様々な考えがあるため、それぞれの役割を踏まえて検討する必要がある。



シイタケのホダ場

問【児玉】鏡ヶ池駐車場及び六花園の土地借上げについては、支払額が膨れる一方であるため利用状況を見て必要性を判断するか、借地公園制度に従い無償借上げなど検討する事が必要でないか。

【町長】現在、必要だという事で土地の借上げをしているが、売買ができる部分に関して必要とあれば検討させていただきたい。必要性については、今後も検討していきたい。

建設課

問【熊谷博】林道愛護費、また除草作業等委託料について、何路線になるのか。また、舗装工事等の要望はあるのか。

【農林土木係長】林道愛護費は18路線、木材搬出道草刈業務委託については、林道22路線、作業道6路線の28路線である。舗装工事の要望は1路線ある。

問【児玉】公営住宅の空き家は何件あるか。

【公共建設係長】7件ある。

令和6年 第3回小国町議会定例会一般質問

氏名	質問内容
松本 明雄	①町営住宅の今後の計画について、民間企業との連携について ②歩車分離信号について
松崎 俊一	①町長の要望活動について ②財政調整基金について ③議員活動について
穴見まち子	①防災教育を学ぶ ②2017年の災害から7年。今の現状は
杉本 いよ	①町道愛護費助成について ②有害鳥獣被害対策について
児玉 智博	①小国高校について ②森林法違反事件について
高村 祝次	①下城イチョウの私有地について ②町道整備について ③六次産業化について
江藤理一郎	①DXの推進について ②職員の採用について



松本 明雄

住宅問題と歩車分離交差点

問 町営住宅の現状、戸数と耐用年数等の説明と今後の計画は。また、住宅抽選のスピード化を。

【建設課長】住環境、上下水道、町民の暮らしを守る重要課題だ。

今年度から10年間長寿命化等の計画を作成、管理戸数や耐用年数、時代にあった住宅管理を考えている。

7月現在の団地数12団地で91棟、362戸管理で270戸（入居率75.6%）解体予定7～8割、入居可能は約12戸、公営住宅に居住する世帯比率13.6%で10世帯当たり1世帯から2世帯は住宅に入っているかたちになる。熊本県内でも最も高い数字だ。

建設年度は大体昭和30年から60年代に建てられた建物が8割、耐火構造5割、耐用年数は残念だが2033年度までにはほぼ超える。一世帯当たりの入居平均2人、65歳以上が6割、入居年数20年以上が4割、現在の入居応募状況5.5倍となる。

新築は考えず、しっかりとした住宅管理をして長く持たせて戸数を減らしていく考えだ。抽選に関してはしっかり対応していきたい。

問 ゆうステーション前の歩車分離信号により、土日祝日の渋滞状況が凄く、国道と国道の間の距離が短いために、より渋滞が増すようだ。この場所を歩車分離信号にした経緯を、警察との話しをお聞きしたい。

【総務課長】観光客も多く歩行者も増えているので、歩行者の安全確保を優先のため。観光シーズンの渋滞はある程度把握しているが、当面はこのままで行かせていただきたい。



松崎 俊一

町長の要望活動、 財政調整基金

問 鍋ヶ滝バイパスの事業は、住民の利便性、渋滞緩和、オーバーツーリズム対策などの効果が期待される。県や県議会の理解、地元黒瀨の皆様の理解もあり鍋ヶ滝は熊本県としても大きな観光資源になっている。

県による過疎代行事業となるには、県庁や県議会に対する粘り強い要望、事業の必要性の説明など、町長の要望活動が実を結んだと理解する。

町は、小国町の事業などについて、阿蘇郡市町村会を通じて要望を、郡市の議長会でも県知事、県議会、県選出国會議員団への要望を行っている。小国町議会の保守系の議員団も、上京の際、要望活動、意見交換、情報収集を行っている。

【町長】 要望活動は最優先で行っている。県庁、阿蘇

地域振興局、さらに九州地方整備局、国交省など霞が関の官庁にも要望活動を行っている。また、壱岐市や福岡市などとの交流や情報交換も積極的に行っている。今後もしっかり頑張っていきたい。

問 財政調整基金について、元町長の河津寅雄翁時代は財調が約20億円、起債残高が20億円となってバランスの取れた財政運営であった。また、宮崎町政では当時の細川県知事のバックアップもあり、まちづくりを推進した。結果、20万人以上の観光客や見学者が訪れた。その後、起債残高のほうは増え続けたが、現在の財調残高、起債残高は。さらにどのくらいの財政調整基金は何のために、どのくらい準備しておくべきなのか、町長としての基本的な考え方をお示しいただきたい。

【町長】 有利な起債、有利な補助金を見つけ、健全財政を私も職員も全員が意識して進めていかなければと思っている。財調残高は現在15億円程度。

【総務課長】 決算で余剰が出た場合、積み立てる。小国町では少なくとも10億円程度は必要と考える。



穴見まち子

防災教育の 現状は

問 中学校部活動全国大会に小国中からバドミントンそしてホッケーは、町から支援をいただいた。暑い中練習を頑張り、支えていただいた方のお陰だと感謝している。保育園、小学校などでは日頃から防災訓練をどのように行なっているか。

【福祉課長】 豪雨災害、地震などいつ起こるか分からない状況で保育園児自らも少し安全意識を高めてもらうこと。保育園では先生の指示に従う、家庭では保護者の指示に従う、そして避難行動を少しでも出来るようになることが必要だと思っている。保育園は地域防災計画で要配慮者、利用設置に位置づけられている。また、宮原保育園、北里保育園それぞれ避難確保計画を作成している。

【保育園長】 毎月一回紙芝居を使って火災地震、水

害避難の仕方のイメージができる様繰り返し訓練をしている。避難訓練の狙いは保育士の指示を聞いて避難できるようになること。避難する手順を理解し落ち着いてできるようになる事である。

【教育長】 防災教育は自分の命は自分で守ることを学ぶ。災害発生の理屈を知る、備え方を学ぶ、災害発生時の対処の仕方、そして実践に移し身につけることが防災教育の狙いである。

問 令和2年災害の復興が完了しつつあるが、課題は。

【建設課長】 令和5年をもって農災、公共災、全て完了している。これからの課題は災害が激甚化していく中で維持管理、川に直接、水が行かないようにする流域治水だったり、九州北部豪雨を機にたとえば、学校の授業参観の時に国土交通省職員と先生が一緒になり、しっかり防災教育を学ぶ事そして「自分の命は自分で守る」事である。

問 大観峰の道が壊れたりしたときに通る大観峰トンネルなどの確保は検討しているか。

【町長】 大観峰トンネルに関わり、日田・阿蘇道路の期成会の話が今後増えていくと思っている。



町道愛護費助成・有害鳥獣被害対策について

杉本 いよ

問 町民の方から「自分たちで集落内の草刈り清掃など行っているが、後継者もないし、高齢化で作業するのも大変である。」「町からの助成金だけでは到底できないので、助成金を上げてもらえないだろうか。」「通行の邪魔になる雑木等は、とても登って切れないので業者が専門職の人に切ってもらえないか。」などの話しがあった。町道愛護費の助成についてお尋ねしたい。町は今までどのような取り組みをされたか。ここ何年かの実績があれば教えていただきたい。

【建設課長】 町道としての管理路線数が259路線、307キロメートル。その中で町道愛護費1メートル当たり20円という支払いをしている取り組み団体が149団体。一部重複路線もあるので164路線約238キロメートル。町単独で委託している路線がファームロードの5路線、64キロメートル。町道愛護費の要綱は令和3年2月5日に改定し、若干の単価アップはしているが、もう少し検討する必要がある。国や県にも補助してもらえる

ように要望活動をしていきたい。

問 今まで国や県・町の施策の補助金等が幅広く町民の皆さんに伝わっていないことを確信した。“誰もが危険にさらされている”。農家の農作物被害だけでなく、観光客の自動車との接触事故等もある。駆除と防除の面で努力していることは承知しているが、駆除の面で猟師の免許取得等に補助金があるが補助金の活用方法は見直してみたらどうか。町で猟師の雇い入れ等をすれば年間の頭数も減っていくのではと考えるがどうか。

【産業課長】 令和6年度に実施している主な事業について再度説明する。町はこれまで守る防除と駆除の両面で有害鳥獣対策に継続して取り組んでいる。これまで広報、おぐチャンまた関係団体への事業説明会等で周知しているが、より詳しく分かりやすく今後も周知を行っていきたい。行政と一緒にやっていくこと等の問題点、また順序を整理した啓発番組を作成し、おぐチャンで放送しようと思っている。

南小国町、産山村や日田市と広域的な有害鳥獣対策実施のため新たな制度の創設や捕獲活動に対する財政負担等の軽減を国の関係機関に要望活動を行っている。

駆除活動を行う方の雇用については、わなと銃器の二つの駆除の方法があり、銃器を取り扱う方を雇用することについては、雇用形態や費用対効果、また、安全対策面等検討すべき項目が多い。



どのような小国高校にしていくか

児玉 智博

問 知事の「普通科は要らない」とする発言をどのように受け止めているか。

【町長】 今後は立場、場所をわきまえて、慎重に発言すると約束しているし、教育と福祉を推進していきたいと発言もされているので、同様に思っている。

問 陳謝されたとはいえ、知事の発言は高校生やこれから進路を考える中学生への影響はゼロではないのでは。小国高校を支援する立場から、発展の会や町として普通科の意義を伝える声明を出す考えはないか。

【町長】 声明を出す必要はないと思う。

問 熊本県では「県立高等学校在り方検討会」が立ち上げられ、高校再編の検討が再び動き出した。発展の会では、小国高校の将来像をどのよう

に描いているか。

【町長】 地域未来留学の制度があり、東京に視察に行った。高校も都道府県の枠を超える選択肢がある世の中になる。

【教育長】 個人に応じた指導支援が求められる。就職対策、大学入試対策、台湾との交流留学等の充実を図る。地域の課題探求に重きを置き、起業家的な思考・知識・行動様式を身に付けた生徒の育成を大きな特色の一つにしたい。

問 教員数の確保は学校の魅力化という点で重要だと思うが、学科やコースを設ければその分教員も配置される。発展の会や町で学科やコース新設について考えていく必要があるのでは。

【教育長】 今後、そういった所も考えていく事もやぶさかではないと思っている。

問 町の発展の会への補助金から、小国高生徒の就学費補助が行われている。法の下での平等を考えれば、町外進学者に対しても同等の補助を行うべきだと思うが。

【町長】 選択肢として選んで自ら行っているわけだし、独自の力でしっかり頑張っていただきたい。



下城イチョウ・ 6次産業化に ついて

高村 祝次

問 下城イチョウについて、お尋ねしたい。
これは5月6日の午後7時30分頃下城大イチョウの長さ20メートルの枝が落下したということについて、建物の撤去費用や課税対象の固定資産評価額を調べて対応したのか。まず初めに撤去した場合の費用はどのくらいになったかを調べたのかお尋ねしたい。

【教育委員会事務局長】所有者の方に相談して、撤去費用の見積り、国への報告相談、そして納屋を再建するための建物の見積り徴集の同時進行をした。その中で土地を一部町のほうに買ってもらってという相談もあった。

問 天然記念物だから補償しなくていいということだが、今回は町のほうが補償金877万円払っている。今後、また枝が落ちてきた場合に損害となれば、町はどう考えるか。

【町長】被害に遭われた方に謝罪をした。御迷惑をおかけした。全面的に進入禁止とするわけにはいかない。地元関係者との協議の中でどのような扱いをするかを決めていきたい。

問 町が買収し整備したほうがいい。観光資源であるイチョウの木周辺の買収をして整備してほしい。

【町長】周辺の方々と協議をし、しっかりと検討していきたいと思うし、観光レベルと地域づくりの両方で考えて、地域がよりよくなればと思う。

問 6次産業といってもいろいろな分野があるが、何の作物を6次産業化すると述べているのかをお尋ねしたい。

【町長】6次産業化と農商工連携は立場が違うので変わる。地域内で農産物また林産物を加工して、流通させて販売をするのか、観光地として流通を外して、地域で販売をするのか。この2通りが選べる利点はこの地域のいいところと思っている。

【高村】最後に、農業と建設業が潤い、豊かなまちづくり、福祉も大事。外貨を稼ぐということが1番大事と思う。職員の皆さんも頑張っていて有利な補助金などを引っ張ってきて、今以上に頑張ってもらいたい。



DX の推進に ついて

江藤理一郎

問 DX の目的は、庁舎内における業務効率化により行政サービスを向上させるものだが、現在どのような事を進めているのか。

【総務課審議員】1、手続きのオンライン化や書かないワンストップ窓口等、県の伴走支援を受け検討作業中。2、住基など20業務を令和7年度までに全国で統一。3、町関連の収納をQRコードを導入し利便性を高める。4、80%を超えたマイナンバーカードの普及を推進し、電子申請の活用を促進。5、セキュリティ対策の徹底。6、AI/RPAの利用促進。7、テレワークの推進等を進めている。

【町長】来年度より電子申請や電子決裁も徐々に移行していく。熊本県庁等も様々な業務をペーパーレス化しており、状況が劇的に変わっている所がある。

DX 推進の部分で少し遅れている所はあるかもしれないが、最先端に行くのかは別にしてもできるだけそれに合わせるような形を取っていきたい。

問 財調基金も少しずつ貯まってきている状況でもあるので、しっかりと DX を住民サービスのために使える様に頑張ってもらいたい。そこで住民の利便性向上に繋がる所についてはどうか。

【総務課審議員】ワンストップ窓口と書かない窓口は役場の煩雑な申請業務や支払いを簡潔化することで住民の利便性が向上すると考えている。

【町長】小中学校の部分ではプログラミングを含めて、先を行ったデジタルの事業ができるのではないかと考えている。役場ではデジタル推進の部局、それから国や県と連携しながらどの部分から手を付けていくのか検討しなければならない。また、観光施設の部分では AR 拡張現実や VR も重ね、遊び心を加えながら色々な仕掛けを町全体を使って広範囲で、またデジタルサイネージも織り込んで観光 DX の計画を立てる予定である。

議員の研修と勉強会

議員の質の向上やそれぞれの役割を果たすために研修会に参加したり、自主的に勉強会を開催したりしています。

◆阿蘇市町村議会議長研修

7月24日(水)から26日(金)にかけて、岩手県平泉町、宮城県気仙沼市、石巻市で阿蘇市町村議長の研修が開催された。(熊谷議長)

◆町村議会正副議長研修

8月27日(火)オンラインで町村議会正副議長研修会が開催され、防災危機管理アドバイザーの越野修三氏より「大災害からの教訓～熊本で備える～」についての講義を受けた。(熊谷議長・江藤副議長)

◆熊本県町村議会議員研修

10月9日(水)にオンラインで熊本県町村議会議員研修会が開催され、大正大学教授の江藤俊昭氏より「町村議会議員のなり手不足への対応策」という演題で学んだ。(熊谷議長・江藤副議長・杉本・高村・児玉・穴見・松崎・松本・熊谷和昭・久野議員)

議長・議員出席行事等一覧表

日付	曜日	行事名	場所	対象者
7月5日	金	台湾中国文化大学交流会	おぐに町民センター	議長、副議長
7月16日 ～17日	火～水	国土交通省九州地方整備局道路部長との意見交換会	国土交通省九州地方整備局(福岡市)	議長、副議長
7月19日	金	熊本県国土調査70周年記念講演会	ホテル熊本テルサ(熊本市)	議長
7月21日	日	阿蘇郡消防操法大会	南阿蘇村保健センター前駐車場(南阿蘇村)	議長
7月24日 ～26日	水～金	阿蘇市町村議会議長研修	岩手県平泉町、宮城県気仙沼市、石巻市	議長
7月31日	水	正副議長・常任委員長・議会運営委員長等研修会並びに阿蘇地域振興懇談会	サンクラウン大阿蘇(阿蘇市)	議長・副議長・委員長
8月6日	火	一般国道212号改修促進期成会定例総会	日田市役所	議長
8月19日	月	一般国道442号道路整備促進期成会総会	久住高原ホテル(竹田市)	議長
8月21日	水	熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会通常総会	エアポートホテル熊本(大津町)	議長
8月25日	日	熊本県消防操法大会	八代市	議長
8月27日	火	正副議長研修会(オンライン研修)	おぐに町民センター	議長、副議長
9月6日	金	金婚夫婦表彰式	JA情報企画センター	議長
9月14日	土	JA阿蘇小国郷畜産共進会	小国家畜市場	議長、議員
10月4日	金	かたらんネ！阿蘇2024	熊本ホテルキャッスル(熊本市)	議長
10月9日	水	熊本県町村議会議員研修会(オンライン研修)	おぐに町民センター	議員全員
10月13日	日	涌峰旗中学生柔道大会	小国ドーム	議員全員
10月21日	月	阿蘇市町村議会議員研修	ホテルサンクラウン大阿蘇	議員全員
10月29日	火	ダイヤモンド婚表彰式	おぐに町民センター	議長、副議長

傍聴に来ませんか

議員は議会でどんな発言をしているの?どんなまちづくりを考えているの?議会に来てあなた自身でご覧ください。

「身近な地名、身近な道、身近な学校」。自分の日常と繋がっているワードばかりで時間も忘れて聞き入っていました。いつも気さくで優しい方々がフォーマルな装いで小国の将来を議論し合う場。今後も私たちが興味関心を持てる議論をしてくださることを楽しみにしています!

(9月18日傍聴 第3回定例会)



合同会社ogunist
野村 卓馬さん (小国町宮原)

傍聴者数

第3回臨時会	1人
第3回定例会	10人

*次の定例会は12月です。 日程はホームページやおぐちゃん、LINEでお知らせします。
詳しくは議会事務局まで TEL:0967(46)2119

編集後記

南小国町の街中で「市原小学校創立150周年」の幟旗が目立っています。同町では、中原小学校も150周年を迎えるということで、11月には両校で地域住民にも声を掛けて記念式典が開かれるといします。

最近、創立150周年を迎える小学校が目につきます。これは、1872年(明治5年)に「学制」が公布されたのを機に、数年間で全国に次々と小学校が設置されたためです。小国町(旧北小国村)にも1873年からの3年間に11の尋常小学校が開校しました(杉室は1911年創立)。これらの学校は1978年までに各大字1校の小学校に再編された後、長く地域住民に親しまれました。

その小学校も2009年に小国小学校に統合されて15年になります。母校の150周年を祝える南小国町民が羨ましくもありますが、2159年こそは小国町でも小国小学校創立150周年を祝えるよう現代の私達が子育て、教育をはじめとしたまちづくりをしっかりと考えていく必要があると思います。

(文責 児玉智博)

【発行責任者】

議長 熊谷 博行

【広報委員会】

委員長 児玉 智博

副委員長 杉本 いよ

委員 松崎 俊一

委員 熊谷 和昭

事務局より

人事異動

▽議会事務局書記兼監査委員事務局書記(税務住民課主事)穴見紗里奈

新事務局職員のコメント

8月から議会事務局に異動となりました穴見と申します。新しい部署となり、不慣れな点も多くあるかと思いますが、1日でも早く議員の皆様や事務局をサポートできるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



前列左から長・宇都宮、後列左から穴見・秋吉

表紙の写真募集

皆さんが撮影した写真をおくに議会だよりの表紙に載せませんか。

掲載された方には粗品を差し上げます。

応募方法

画像データをメールに添付して

gikai@town.kumamoto-oguni.lg.jp

に送信してください。メールにはお名前とご住所、写真撮影日時、場所、エピソード等をご記入ください。

※お名前とエピソードを記入された場合は紙面で紹介します。ペンネームを希望される方はペンネームを記入してください。

応募条件

○3MB以上のデジタルデータ

○写真は町内で撮影されたもので、未発表のもの

○町や町議会の発行物での2次利用を認めていただける方

○18歳未満の方は保護者に応募してもらってください。

○他人の著作物を被写体とした場合は、著作権者の許諾をうけたもの

○人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの

※多数の被写体が撮影されて、小さく写りこんでいる場合は、個人特定の低い風景写真とみなし、この限りではありません。

町議会の会議録は町ホームページの中に掲載されています。ご覧ください。

